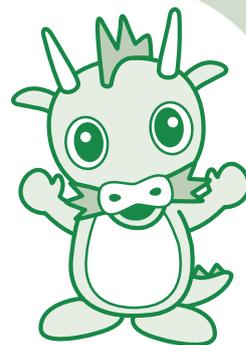


鐘の音

～かねのね～



vol.53
2025.3 発行



大宮の古い地名「鐘塚」。そこに建てられた「パートナーシップさいたま」から男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、そんな願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたまからのお知らせ

令和7年1月17日(金)～2月16日(日)に、パートナーシップさいたまフェスタを開催しました！

「基調講演」動画配信

講師

よつちと ゆうこ
四本 裕子 さん(東京大学大学院総合文化研究科教授)
「脳科学から考えるジェンダー」

講師

たが ふとし
多賀 太 さん(関西大学文学部教授)
「ジェンダー平等と男性の働き方・暮らし方」

その他にも、

出展団体による会場・オンラインでのプログラムや、令和6年度男女共同参画推進センター オンライン講座プレイバック、人権啓発や男女共同参画推進に関する取組紹介等、多くのコンテンツを実施しました。

第4回
パートナーシップさいたまフェスタ
さいたま市

「ジェンダー平等を実現しよう」

開催期間
令和7年1月17日(金)～2月16日(日) 参加費無料

オンライン企画 「基調講演」動画配信 (基調講演動画には日本語字幕が付きまます。)

テーマ 「脳科学から考えるジェンダー」
講師 四本 裕子 さん
東京大学大学院総合文化研究科 教授

テーマ 「ジェンダー平等と男性の働き方・暮らし方」
講師 多賀 太 さん
関西大学文学部 教授

施設使用料のお支払いにキャッシュレス決済をご利用いただけます！

以下の方法で決済が可能になりました。

- クレジットカード、デビットカード、プリペイドカード
- 電子マネー ● QRコード決済
- さいコイン

- ご利用になれるブランドの詳細は、市ホームページをご覧ください。
- キャッシュレス決済では、領収証の発行はできません。
- 窓口にお越しただいての支払いのみです。
- 今までどおり、現金でのお支払いも可能です。



▲ホームページ

団体共同事業のご紹介

団体と共同で実施した講座をご報告します。

市民企画講座 PROTON主催「サンゴクエスト体験会～様々な視点から選択肢を考えよう～」

「気持ちが悪くなった感じがした…」と話したのは、参加者の20代未婚男性。サンゴクエストのイベントを通じて、相手役との関係性に亀裂が生じたと言います。

サンゴクエストとは、出産前と産後の育児を疑似体験し、心の動きを追求するボードゲームです。ママ役とパパ役に分かれ、マスに書かれているイベントから感じた気持ちを共有していきます。たとえば「つわりで体がだるい」などの妊娠に関するものや「赤ちゃんが泣き止まない」など、育児の大変さを感じるマスがあります。

サンゴクエストの特徴は、誰でもプレイできる点です。女性がパパ役になるなど、違う立場から出産や育児を疑似体験できます。

11月22日(いい夫婦の日)にパートナーシップさいたままで行われた講座には、カップルや妊娠中の方、すでに子育てを終えた方まで、助産師と共に様々な方が参加しました。「手伝うじゃないでしょ」という声も聴こえ、参加者は真剣にゲームをプレイしていました。

参加者からは「プレイする中で、仕事をしながら育児をするのは大変だと実感しました。育児のイメージが、具体的になってよかったです」との声が聞かれました。

講師を務める安藤さやかさんは「ゲームから当事者意識をもつてほしいと思っています。管理職の方や子育てを終えた男性がプレイすれば、パートナーや部下にやさしくなれると思います」と言います。そして「ゲームや講座を通じて、やさしい社会にしていきたいです」と意気込みます。(福田聖也)



公募型共催事業 AKJ.Commu主催「ジェンダーレス・コミュニケーション講座」

全6回の講座のうち第4回目「他者と対立しない方法」に参加しました。初めての参加でしたが、講師と参加者同士の自己紹介の後、参加者が人間関係で困っていることを話すことになりました。私は、今までもこれからは付き合い合っていないかなくてはいけない人なりの関係がうまくいかないことを話しました。皆さんの話も聞くなか、問題点や困っていることが、どうしてそうなるのかという講師の話が始まりました。

お話はステイブン・R・コヴィー著『7つの習慣』などを参考に進みました。

- ・自分と相手が対等でないと感じ合えず、意見がまとまりにくい。相手の意見を受け入れず、自分の意見を曲げないという態度は対等ではない。自分と相手が対等だという考えに基づけば、互いに分かり合える。
- ・思い込みや偏見は、信頼、誠実を妨げる。お互いの意見を伝える・聴く・理解する・主張しあう等のバランスが良く、自分と相手の確認ができ、バランスが悪いと自分から心の距離を作ってしまう。

- ・他者との対立を避けるポイントとして、何かを言う前に考えましょう。相手の言い分を、まず受け止めましょう。
- ・対立しないためのコツは、受け止め方や見方を変えること。

講師のお話を聞いて、自分も「思い込み」が強いと反省。参加者からの「相手との関係性においても、個人対個人なのか、組織対個人なのかで対応が変わる」などのお話も大変参考になりました。学んだことを意識して、人との出会いを楽しいものにしていきたいと感じました。(武田礼子)



※令和7年1月時点の予定です。

さいたま市議会2月定例会において、令和7年度予算の承認を得られましたら詳細を決定いたします。講座の詳細は決定次第、市報・チラシ・ホームページ等で周知いたします。

令和7年度講座のご案内

男女共同参画週間記念事業

内閣府では、男女共同参画社会の形成の促進を図るため、毎年6月23日~29日を「男女共同参画週間」としています。

この「男女共同参画週間」にちなみ、講座を実施する予定です。

DV防止セミナー

内閣府では、毎年11月12日~25日を「女性に対する暴力をなくす運動」の実施期間としています。この運動にちなみ、DV防止セミナーを実施する予定です。

国際男性デー記念講座

国際男性デー(11月19日)の趣旨である「男性・男児の健康に目を向け、ジェンダー平等を促す」に沿って、男性に焦点を当てた講座を実施する予定です。

性暴力防止セミナー

埼玉県と共催で性暴力の防止をテーマとした講座を実施する予定です。

この他にも、講座、ワークショップを予定しています!



○出前講座 専門の講師を派遣します

ジェンダー平等出前講座

さいたま市内の学校・事業所、団体等へ、テーマごとに専門の講師をコーディネートします(講師料はさいたま市が負担)。オンラインでの講座にも対応いたします。詳細はパートナーシップさいたまへお問い合わせください。

「ジェンダー平等基礎講座」

第2回 性の多様性とは

講師：堀川 修平 さん(埼玉大学ダイバーシティ推進センター 特別研究員(PD))

この講座では数々の言葉の誤解を解いてくれました。性の多様性とは一般的にLGBTQ+と捉えられがちですが、学術的には性別は多層的で性自認、身体的特徴、表現の性(らしさの性)、性的指向という属性があり、その組み合わせで多様になると知りました。

また、マジヨリテイとはこの社会で生き辛さに鈍感でいられる人。マイノリティとはマジヨリテイ中心の社会制度や法ばかりの中で、生活の機会や権利を力ある他者に奪われ、劣位に置かれた人とのこと。差別Ⅱ区別+蔑視+排除というのには納得です。ズルではなく、少数派には当面合理的配慮が必要なのですね。モヤモヤしたりスッキリしたり言葉ってスゴい。(Mみえこ)



第1回 ジェンダー平等とは

講師：島 直子 さん(国立女性教育会館研究国際室 研究員)

本講座は多くのデータで現在のジェンダーギャップを明らかにしてくれました。何より私に衝撃を与えたのは、居住地域のジェンダー規範が保守的と感じる高齢男女は、うつ症状・自殺念慮・自殺未遂歴が2倍以上ということ。人生百年時代に、高齢者が性別役割に囚われ、多様性や自由を認められない社会で生き辛さを抱えている。これは個人の努力で抗うには難しく、無意識に受け入れざるを得ない社会の構造です。仕組みを知り、意識を変えていくべきだと思いました。そのためには参加ではなく、参画が必要。意思決定に関わり、発言が議論に反映される状態が参画です。そこにはスーパーウーマンではなく、多様な能力や人生経験をもつ女性達がいるというのがいいですね。



セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座

「助産師から学ぶ女性のヘルスケア」

講師：平野 素尚 さん(助産師、埼玉県助産師会 思春期保健講師・電話相談員、認定NPO法人ピッコラーレ相談支援員、認定NPO法人エンパワメントかながわりモート相談員・性教育認定講師)

セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座を受講した。35年以上助産師の経験があり、NPO法人で相談員を務められている方が講師だった。

まず、この講座名に多くの方は馴染みがないのではないだろうか。受講前、女性のライフサイクルに絡めた健康全般の話なのかと想像した。セクシャル・ヘルスは、自分の性について心身ともに満たされた状態であること。リプロダクティブ・ヘルスは、産む・産まない・産めないなどの選択や状況、出産に関心ある・なしに関係なく、心身ともに健康であること。セクシャル・ライツは、性を自分で決められる権利のこと。リプロダクティブ・ライツは、妊娠、出産、中絶に関する情報を得られ、自分で決められる権利だそう。性に関する悩みや婦人科系(生理や病気などの)話題は、個人的であり、状況もそれぞれであるため、正直オープンに共有しづらいと思う。正しい知識を得、悩みはひとりで抱えず、公的な相談窓口や検診は積極的に活用すべき、と先生は強調された。例えば増加傾向の性感染症や思いがけない妊娠をした場合など、人生経験の少ない時にこれらに直面すると適切に対処するのは難しいかもしれない。対応が遅れば、のちの体と健康に大きな問題を引き起こす可能性がある。

さいたま市の制度を利用した、乳がん・子宮頸がん検診の受診率は、残念ながら10%台と驚きの低さだそう。自身の性と健康に関心を持ち、体を大切にすることが、周りの人や家族を大切にすることに繋がると感じた。(豊田真美)



ライフキャリア講座

「幸せな職業生活を自分の手で作るために」

講師：金井 郁 さん(埼玉大学人文社会科学部研究科教授)

今回の講座を受講して、家の中での家事・育児・介護などのケアを担うため、仕事をアルバイトやパートタイマーにしている母親・妻も、男性と同様に望む働き方で働けるようにするには、男性の長時間労働を規制し、家でケアを担う時間を確保することが必要だと分かりました。

健康な人が働きに出られない一番の要因は、家の中でケアをしなければならぬからです。女性は就職するとき将来の結婚・出産を考えると総合職を避ける傾向にあると聞き、女性がケアが必要な状況になる前からケアのことを考えるのは、人間の長い歴史や政策のためだからかなと思いました。

しかし、私は日本社会が変わり始めていると思っています。小学校の運動会では応援団長が女の子であることは、今は珍しくありません。このこと一つをとっても確実に次世代の意識が変わり始めていると実感しています。そんな次世代女性のやる気の芽を摘まないような法律、政策、社会構造ができてほしいと思います。

男性も長時間労働で自分の子どもが初めて歩いた瞬間、初めてしゃべった瞬間を見逃しているなど寂しく思っているかもしれないし、親との最後の日々を共に過ごしたいと思っているかもしれません。

最後に金井先生が、「自分だけ、自分の会社だけが良いだけではだめ」とおっしゃったのを聞いて、個人事業主や会社員、一人暮らしや家族と暮らす人、そしてケアの必要な人など、様々な立場の人それぞれに、細かい政策が必要になるのだなと思いました。(O.しほ)



相談のご案内

●相談は無料です。●秘密は厳守します。

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

男女共同参画相談室 子ども家庭総合センター内	☎048-711-6650
月～金／10:00～20:00 土・日・祝／10:00～16:00 (年末年始を除く)	
浦和区役所 女性の相談室	☎048-829-6129
月・火・水・金／10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)	
中央区役所 女性の相談室	☎048-840-6132
火・金／10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)	
岩槻区役所 女性の相談室	☎048-790-0158
月・水／10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)	

●男性の悩み電話相談

男性の生き方、仕事、家庭、夫婦、人間関係などの相談に応じます。

男女共同参画相談室	☎048-711-6101
第2・第4日曜日／13:00～16:00	

●女性のDV電話相談

☎048-762-3880
月～金／10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)

●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

実施場所	パートナーシップさいたま 予約電話☎048-642-8107
実施日時	第2水曜日／13:00～15:50(30分単位)
実施場所	男女共同参画相談室 予約電話☎048-711-5739
実施日時	第1・第3火曜日／13:00～15:50(30分単位)

●男性のための法律相談(予約制)

弁護士が相談に応じます。

実施場所	パートナーシップさいたま 予約電話☎048-642-8107
実施日時	第4水曜日／16:30～19:20(30分単位)



HPはコチラ▶

編集後記

今年度は小学校でPTA活動をしています。一緒に活動している方々はしっかり者で、話も面白いので楽しく活動しています。時間が削られるので最初はどうかと思いましたが学校や子供たちのためになったのなら良かったです。PTA活動もまた、私の人生のキャリアです。
(O.しほ)

久しぶりにパートナーシップさいたまで、コミュニケーションの講座に参加し、人間関係の難しさをあらためて感じました。今はSNSという便利？なものもでき、ますます複雑にしているのではと感じるこの頃です。
(武田礼子)

地球温暖化が進行する中、日本の四季の区分が不明瞭になって来ていると感じているのは私だけではないと思います。季節の歳時を楽しむ日本の文化を保存するためにも、ひとりひとりが環境配慮型の生活を心がけるべきと強く思っている頃です。
(豊田真美)

私もサンゴクエストをプレイし、多くの学びを得ました。妊娠や出産に関して知らないことが多かったため、これから知識を身に付けていこうと思います。結婚や出産前に、ぜひプレイしてほしいゲームです。
(福田聖也)

認定NPO法人Rabbitによる2022年10月のアンケート報告によると、性的マイノリティユースが孤立しており、自傷行為・自殺未遂・からかい等によるいじめで不登校が多い。教師や親にも相談できないという。未来を担う子供達にこんな思いをさせてはいけないと思います。
(Mみえこ)



JR大宮駅西口 徒歩8分
自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用になれます。



広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。
郵便、電話、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままでお願いします。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.53 2025年3月1日
〈編集・発行〉
さいたま市男女共同参画推進センター(愛称:パートナーシップさいたま)
編集員/O.しほ、武田礼子、豊田真美、福田聖也、Mみえこ
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センタープラザ3階
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801
E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

◆ホームページもご覧ください◆ [パートナーシップさいたま](#) [検索](#)



この広報誌は42,000部作成し、1部当たりの印刷経費は10円です。